

福祉懇談会（小合地区）  日時：令和4年8月4日（木）10:00～11:30 会場：小合地区コミュニティセンター	出席者	
	小合コミ協	古田会長、田村副会長、野瀬山副会長、稲月副会長、丸山副会長、大竹事務局長
	小合地区社協	吉田幹事、小林幹事、田村幹事、星野幹事、今井幹事、江口幹事
	小合地区民児協	渡邊副会長、今井民生委員
	秋葉区社協	横山事務局長補佐、藤田、時田

		評価・課題	取り組み	
高齢者	見守り	<p>（高齢化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耳が遠いがおしゃべりを楽しみにしていて訪問を喜ばれている。</li> <li>・訪問し話をするが、耳が遠く会話が難しい。</li> <li>・歩行が大変な方へは中に入って話をするなど、対象者に合わせて対応している。</li> </ul> <p>（取り組み方）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寂しそうにしている訪問すると喜ばれるが、次の訪問先もあることからゆっくりと時間が取れない。</li> <li>・2人で訪問するのがいい。</li> <li>・耳が遠い方には顔を近づけて話さなければならず、コロナ禍で続けていくにはどうしたらいいのか。</li> <li>・町内会長が行っているところが多いが、分担し、みんなで見守っていることを伝えることも大事である。</li> <li>・きざみ食が必要な方もいて、そういう対応ができるとうい。</li> <li>・おせちを届けるというより見守りが大切である。</li> <li>・対象者の条件に当てはまらなくても必要だと感じる世帯がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■なじらて訪問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の協力と連携で継続</li> <li>・状況を確認、共有する場</li> </ul> </li> <li>■おせち料理配食事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの協力 （手紙でのつながりから）</li> <li>・地区としての対応を検討</li> </ul> </li> <li>■友愛訪問</li> <li>■見守りの情報共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りの情報共有と整理</li> </ul> </li> </ul>	<p>地区社協</p> <p>地区社協 民生委員</p> <p>民生委員</p>

高齢者	見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋葉区全体を同じ方向に向かせるのは難しい。その地区で考えていくことが大事であり、地区ごとにひとつひとつやっていくことが大事である。</li> </ul> <p>(連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>離れて暮らす家族とも連絡が取れるといい。</li> <li>老人クラブや町内と連携することで成功する。</li> <li>サロンや民生委員が協力して地域が一つに顔が見える関係で行えたことがよかった。</li> <li>地域の子どもたちも一緒に取り組めたらいい。</li> </ul> <p>(近所づきあい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>畑を通じて近隣の高齢者と会話ができるようになり、会話をすることを大変喜ばれている。</li> <li>年代が上の方とあまり接点がない。</li> <li>新しい地域で交流がなく、溶け込んでいないと感じる。</li> </ul>		
	居場所	<p>(高齢化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サロンには高齢で行けない。</li> <li>サロンに行けない方の自宅で出前サロンを行ったところ好評だった。</li> <li>耳の遠い方は話が聞こえず参加しても面白くなく、参加しなくなってきた。</li> </ul> <p>(コロナ禍)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会がコロナで活動を自粛しているため、サロンもその方針に従わないといけない。</li> <li>コロナ禍でサロンをやめてしまうと居場所がなくなってしまう。</li> </ul>	<p>■いきいきサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営方法の検討など、継続できるよう支援</li> </ul>	<p>地区社協 各サロン</p>

	居場所	(運営) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 若い世代は仕事があり参加できない。</li> <li>• 色々と試みても成果がないと意欲がなくなってくる。</li> </ul>		
高齢者	認知症	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 認知症は急激に進行する。</li> <li>• 認知症の方にも声をかけてサロンに来てもらっている。</li> <li>• サロンでの見守りは大きな力になっている。</li> <li>• 対応が難しいところもあるが、講演会など聞いて参考にしている。</li> <li>• 地域住民で理解が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 認知症講演会</li> <li>• 住みやすい地域になるよう認知症の理解を広げる</li> <li>• 行事への参加等通して認知症予防を進める</li> </ul>	コミ協
	生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 除雪、買い物、ゴミ出しなどに困っている方もいる。</li> <li>• 買い物や除雪など組織をつくれたらいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生活支援</li> <li>• 組織的な活動の検討</li> <li>• 活動に対する地域の理解</li> </ul>	
子ども	交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コロナの影響で親子食堂を開催できていない。</li> <li>• 子ども食堂など、各地区で地域の人が作り届ける方法もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 親子食堂</li> <li>• コロナの状況を見ながら実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区社協</li> </ul>
安心・安全	防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 避難行動要支援者名簿について、連携が遅れている。</li> <li>• 個人情報などを大事にしながら、自治会、コミ協、老人クラブで助け合う地域づくりを考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 避難行動要支援者</li> <li>• 関係者（コミ協・自治会・民生委員等）で連携</li> </ul>	

個人情報	取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どこに支援が必要な人がいるか、どのような状況の人がいるのか分からない。</li> <li>• 個人情報の取り扱いなど時代が変わったなら、行政も変わった形に合わせた対応を考えなくてはならない。</li> <li>• 家族表がないと把握できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家族表の必要性</li> <li>• 作成の仕方を検討 (個人情報にも配慮)</li> </ul>	
育成	視察・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他地区に視察に行き、研修を行いたい。</li> <li>• サロンの運営はコロナ禍で苦勞しており、以前実施していた役員の視察研修は息抜きにもなり、そういう機会も必要である。</li> <li>• 地域の情報交換は大事であり、地域の行事に参加していくことでつながる。</li> <li>• 時代に沿ったものを検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 視察研修</li> <li>• 感染対策を工夫して実施を検討</li> <li>• 役員の意欲低下の防止</li> </ul>	地区社協